

議案第94号関連資料

令和4年度明石市一般会計補正予算（第8号）について

肺炎は高齢者における国内の死亡原因の第4位（令和元年度）となっています。また、侵襲性肺炎球菌感染症による死亡率は約20%と高く、患者のうち約70%を65歳以上の高齢者が占めるといわれています。

そのため、明石市では、高齢者肺炎球菌予防接種（定期接種）のほか、市独自で再接種費用の一部を助成していますが、定期接種化から5年以上が経過し、再接種の対象者が増加していることや、新型コロナウイルス感染症の流行によりワクチン接種への関心が高まっていることなどから、当初の見込みより接種者数が大幅に増加していることに伴い、不足が見込まれる費用を補正予算として計上するものです。

1 事業内容

接種対象者	満65歳以上の明石市民で下記（1）（2）の両方に該当する者 （1）肺炎球菌ワクチンの接種を受けてから5年以上経過している者 （2）基礎疾患等を有することにより肺炎に罹患した場合に重症化する可能性が高いため、肺炎球菌ワクチンの再接種が必要と医師が認めた者
助成方法	接種後に市へ還付請求を行い、市から助成金（予防接種に要した額または市が定める上限額のいずれか低い方の額）を振り込み。 <市が定める上限額> ①市民税非課税世帯または生活保護受給世帯の者：8,120円 ②市民税課税世帯の者：4,120円


2 補正額（案）

4,000千円

款）衛生費 項）保健衛生費 目）予防費 細目）予防接種費
事業）高齢者肺炎球菌予防接種助成事業 節）扶助費

【積算根拠】

当初予算額 5,300千円 年間経費見込額 9,372千円 ≙ **不足見込額 ▲4,000千円**

	4～10月請求者数		年間請求者数	年間経費
令和3年度	185人	 約3倍	610人	2,699,022円
令和4年度	546人		【見込】1,830人 ※非課税世帯等25% 課税世帯75%	【見込】9,371,600円

3 参考（高齢者肺炎球菌再接種事業 実績）

	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(当初見込)	令和4年度(見込)
対象者数	15,738人	20,781人	26,798人	33,762人	33,762人
接種者数 (接種率)	608人 (3.9%)	703人 (3.4%)	610人 (2.2%)	940人 (2.8%)	1,830人 (5.4%)
経費	3,099千円	3,929千円	2,699千円	<u>5,300千円</u>	<u>9,372千円</u>